令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産体制の充実		事業期間	令和 6年度～令和13年度
	事務事業	有害鳥獣被害対策事業			

【事業全体概要】

事業概要	市内における有害鳥獣（イノシシ等）による農産物等の被害を防止し、営農意欲の確保、農業施設（農道・水路）の保全を図るために、本市鳥獣被害防止計画に基づき、農家への防護柵等設置経費の助成や、猟友会等による捕獲活動を奨励する。				
7年度概要	①イノシシ・サル対策 被害防止対策補助（捕獲）・防護柵等整備助成・箱わな導入事業 他 ②アライグマ対策 殺処分機用炭酸ガス代 他 ③その他の事業 高松市鳥獣被害対策実施隊員報酬・会計年度任用職員給料等 他				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	鳥獣保護管理法 鳥獣被害防止特別措置法

【事業の目的】

対象（何を）	市内の農業者、鳥獣による被害農家数
意図（どのような状態にしたいか）	農作物被害地域住民による鳥獣を寄せ付けない鳥獣ストップゾーン（緩衝帯）の整備、集落単位での防護柵等の設置、香川県猟友会等による有害捕獲及び指定管理鳥獣捕獲等推進事業等による捕獲を強化し、イノシシやアライグマ等有害鳥獣による被害の軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
① イノシシ等捕獲に係る補助金交付件数	件／年	0	0	1,715	3,000	3,000
② 防護柵等設置に係る補助金交付件数	件／年	0	0	39	40	40

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8	
		鳥獣による被害金額	万円	目標値 実績値	0 0	0 0	2,017 1,998	2,000	2,000
成果指標①	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	有害鳥獣による食害で発生した農水産物の被害額は僅かながら、目標値を超えたもののおおむね達成することができた。			(目標達成度)	100.9%				
成果指標②	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
				(目標達成度)					
成果指標②				(得点)					

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	48,762	42,280	48,562	54,770
(事業費)	[千円]	27,058	20,452	26,174	32,382
(職員人件費)	[千円]	21,704	21,828	22,388	22,388

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			特定財源	一般財源	
令和6年度	①イノシシ・サル対策 被害防止対策補助(捕獲)・防護柵等整備助成・箱わな導入事業 他 ②アライグマ対策 殺処分機用炭酸ガス代 他 ③その他の事業 高松市鳥獣被害対策実施隊員報酬・会計年度任用職員給料等 他	① 19,829千円 ② 382千円 ③ 4,068千円	総額	26,174	
			特定財源	国	0
				県	15,237
				市債	0
				他	0
一般財源	10,937				
令和7年度	①イノシシ・サル対策 被害防止対策補助(捕獲)・防護柵等整備助成・箱わな導入事業 他 ②アライグマ対策 殺処分機用炭酸ガス代 他 ③その他の事業 高松市鳥獣被害対策実施隊員報酬・会計年度任用職員給料等 他	① 17,286千円 ② 377千円 ③ 14,719千円	総額	32,382	
			特定財源	国	0
				県	19,126
				市債	0
				他	0
一般財源	13,256				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94%)	今後の方向性	継続
	B (60%~79%)					
	C (0%~59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

有害鳥獣による農林水産業にかかる被害は、高止まり傾向にあるため、引き続き粘り強く対応していく必要がある。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

引き続き、鳥獣被害防止に努めるとともに、環境整備(鳥獣ストップゾーンの整備)、防御(集落単位での防護柵の設置等)を効率的、効果的に実施する。

令和7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産体制の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	園芸産地育成推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	多様化する消費者のニーズに対応した品質と安定的な供給力を持った園芸産地の持続的発展を図るため、県オリジナル品種などの園芸作物等の生産拡大に取り組むための農業機械施設等の整備に対する支援を行う。				
7年度概要	①園芸産地育成強化推進事業費 ②多彩な園芸産地育成推進事業費				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	かがわ園芸産地生産力強化対策事業費補助金	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市内の農業生産者
意図（どのような状態にしたいか）	市内における農業生産力の増大及び付加価値の高い作物の産地化を図り、競争力の強化を目指す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
① 補助金交付件数	件	0	0	15	15	15
②						

【事業の成果】

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8																		
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値																	
野菜・果樹の市内販売金額（JA取扱分）	億円		0	0	21	21	21																		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）			<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>生産者の減少・高齢化や夏期の高温による品質低下等、厳しい状況の中、担い手農家等による施設野菜・果樹の生産拡大に努めた結果、相対的な農産物価格の上昇もあり、目標販売額を達成した。</p> <p>(目標達成度) 104.8%</p> <p>(得点) 35点</p> </div> <div style="width: 50%;"> <table border="1"> <caption>販売金額実績値 (億円)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>R2</td><td>0</td></tr> <tr><td>R3</td><td>0</td></tr> <tr><td>R4</td><td>0</td></tr> <tr><td>R5</td><td>0</td></tr> <tr><td>R6</td><td>21</td></tr> <tr><td>R7</td><td>21</td></tr> <tr><td>R8</td><td>21</td></tr> <tr><td>R9</td><td>22</td></tr> </tbody> </table> </div> </div>					年度	実績値	R2	0	R3	0	R4	0	R5	0	R6	21	R7	21	R8	21	R9	22
年度	実績値																								
R2	0																								
R3	0																								
R4	0																								
R5	0																								
R6	21																								
R7	21																								
R8	21																								
R9	22																								
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）			<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>(目標達成度)</p> <p>(得点)</p> </div> <div style="width: 50%;"> </div> </div>																						

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	69,100	110,135	64,459	694,706
(事業費)	[千円]	59,371	101,855	54,423	684,670
(職員人件費)	[千円]	9,729	8,280	10,036	10,036

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			総額		
令和 6 年度	①園芸産地育成強化推進事業費 ②多彩な園芸産地育成推進事業費	① 975千円 ② 53,448千円	総額	54,423	
			特定財源	国	0
				県	43,198
				市債	0
				他	0
一般財源	11,225				
令和 7 年度	①園芸産地育成強化推進事業費 ②多彩な園芸産地育成推進事業費	① 975千円 ② 683,695千円	総額	684,670	
			特定財源	国	0
				県	664,460
				市債	0
				他	0
一般財源	20,210				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90%)	今後の方向性	継続
	B (60%~79%)					
	C (0%~59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

県オリジナル品種等の付加価値の高い農産物の生産拡大に取り組む担い手農業者を支援することにより、園芸作物等の生産拡大を推進した。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

今後も、国、県などの補助事業を積極的に活用し、コスト縮減を図りながら、園芸産地の育成を図る。

令和7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産体制の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	畜産振興事業			

【事業全体概要】

事業概要	家畜伝染病予防のほか、和牛等の効率的かつ組織的な育種改良により、産肉性等経済能力の向上を図るため、毎年度予算の範囲内において補助金を交付することにより、優良繁殖牛の導入による優良牛の作出等を促進する。			
7年度概要	(1) 家畜法定伝染病予防事業 家畜法定伝染病予防事業 (2) 肉用牛等生産振興事業 優良家畜導入輸送事業、繁殖和牛等増産対策事業、和牛改良基地育成事業 (3) 家畜環境衛生対策事業			
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令

【事業の目的】

対象(何を)	高松市内の畜産農家
意図(どのような状態にしたいか)	家畜伝染病の発生防止、まん延防止に努め、畜産経営の安定に資する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R4	R5	R6	R7	中期目標R8
① 補助金交付頭数	頭	0	0	2,467	5,000	5,000
②						

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標R8
①	1戸当たりの乳用牛飼養頭数	頭	目標値	0	0	126	128	129
			実績値	0	0	151		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 市内の乳用牛の増産が図られたことから、目標値を達成できた。 (目標達成度) 119.8% (得点) 35点							
②	1戸当たりの肉用牛飼養頭数	頭	目標値	0	0	162	164	166
			実績値	0	0	207		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 市内の肉用牛の増産が図られたことから、目標値を達成できた。 (目標達成度) 127.8% (得点) 35点							

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	12,590	4,628	3,755	5,313
(事業費)	[千円]	6,603	2,370	2,983	4,541
(職員人件費)	[千円]	5,987	2,258	772	772

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			特定財源	一般財源	
令和6年度	(1) 家畜法定伝染病予防事業 家畜法定伝染病予防事業 (2) 肉用牛等生産振興事業 優良家畜導入輸送事業、繁殖和牛等増産対策事業、和牛改良基地育成事業	(1) 1,935千円 (2) 1,048千円	総額	2,983	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	2,983				
令和7年度	(1) 家畜法定伝染病予防事業 家畜法定伝染病予防事業 (2) 肉用牛等生産振興事業 優良家畜導入輸送事業、繁殖和牛等増産対策事業、和牛改良基地育成事業 (3) 家畜環境衛生対策事業	(1) 2,181千円 (2) 1,460千円 (3) 900千円	総額	4,541	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	4,541				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94%)	今後の方向性	継続
	B (60%~79%)					
	C (0%~59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

家畜伝染病の検査及び予防注射の実施と併せて、優良な繁殖和牛の導入及び優良な子牛の市内保留に対して補助を行った。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

家畜伝染病の発生・蔓延を防止するため、家畜法定伝染病対策を重点的に実施するほか、各種助成を継続することで畜産経営の安定に資する。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産体制の充実		事業期間	令和 6年度～令和13年度
	事務事業	漁場保全補助事業			

【事業全体概要】

事業概要	海底耕うんの実施及び漁船漁具等の整備、漁協・海岸の環境改善により、漁業生産性向上を図る。			
7年度概要	(1) 水産多面的機能発揮対策事業 水産資源の保護育成を目的とした海底耕うんを実施する。 (2) 海浜清掃事業 漁業者による漁港・海岸の廃棄物回収事業を実施する。 (3) 漁船漁具保全施設設置事業			
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令

【事業の目的】

対象（何を）	市内の漁業者が組織する団体
意図（どのような状態にしたいか）	(1) 海底耕うんをすることにより、貝類や底性生物の生息環境を改善する。 (2) 漁協・海岸の環境改善を通じ、漁業生産性を向上させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
① 補助金交付件数	件	0	0	3	5	5
②						

【事業の成果】

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
生鮮水産物出荷量	t	目標値 実績値	0 0	0 0	3,000 2,652	3,000	3,000
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
新型コロナウイルス感染症の規制が撤廃されイベント等の再開により経済も回復傾向にあったが、魚介類の消費量の回復は遅く生鮮水産物の出荷量は落ち込み、目標を達成できなかった。			(目標達成度)		88.4%		
			(得点)		31点		
成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		目標値 実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			(目標達成度)				
			(得点)				

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	5,410	3,659	6,386	6,485
(事業費)	[千円]	4,662	2,906	5,614	5,713
(職員人件費)	[千円]	748	753	772	772

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	(1) 水産多面的機能発揮対策事業 水産資源の保護育成を目的とした海底耕うんを実施する。 (2) 海浜清掃事業 漁業者による漁港・海岸の廃棄物回収事業を実施する。 (3) 漁船漁具保全施設設置事業 老朽化した船揚げ施設の改修	(1) 993千円 (2) 1,901千円 (3) 2,720千円	総額	5,614	
			特定財源	国	0
				県	2,720
				市債	0
				他	0
一般財源	2,894				
令和 7 年度	(1) 水産多面的機能発揮対策事業 水産資源の保護育成を目的とした海底耕うんを実施する。 (2) 海浜清掃事業 漁業者による漁港・海岸の廃棄物回収事業を実施する。 (3) 漁船漁具保全施設設置事業 老朽化した船揚げ施設の改修	(1) 993千円 (2) 2,000千円 (3) 2,720千円	総額	5,713	
			特定財源	国	0
				県	2,720
				市債	0
				他	0
一般財源	2,993				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~100%)	A	総合点 (率)	86 / 100 (86%)	今後の方向性	継続
	B (60%~79%)					
	C (0%~59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

海底耕うんの実施、漁協・海岸の環境改善により、漁業生産性の向上が図られた。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

瀬戸内海のような限られた漁場では、環境保全に取り組むことで、漁業資源の安定化が図られることと、漁業の生産性の向上を図るために、継続する必要がある。

令和7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産体制の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	森林整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	森林環境譲与税を活用し、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進等を行う。			
7年度概要	①森林整備、林道維持管理等の委託事業 ②林道・作業道の維持修繕 ③かがわ森林整備担い手対策協議会負担金 ④森林整備、県産木材普及、木材需要拡大の補助事業 ⑤事務費等 ⑥森林整備基金積立金			
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律

【事業の目的】

対象（何を）	高松市内の市有林等の山林
意図（どのような状態にしたいか）	森林環境譲与税を活用し、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進等を行うことを通じ、国土の保全や水源の涵養等の公益的機能を有する本市の森林の適切な管理等を進める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
① 森林整備事業補助金（作業種：間伐）交付件数	件	0	0	0	10	10
②						

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
	間伐実施面積	ha	目標値 実績値	0 0	0 0	15 7.83	15	15
成果指標①	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	間伐等による森林管理に努めたものの目標は達成できなかった。	(目標達成度)	52.2%	(得点)	18点			
成果指標②	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
			目標値 実績値					
成果指標②	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)		(得点)				

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	61,876	76,724	87,564	88,935
(事業費)	[千円]	49,902	62,423	67,492	68,863
(職員人件費)	[千円]	11,974	14,301	20,072	20,072

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			総額		
令和 6 年度	①森林整備、林道維持管理等の委託事業②森林整備用備品の購入③森林整備、県産木材普及、木材需要拡大の補助事業④事務費等⑤森林整備基金積立金⑥森林団体育成	① 13,112千円 ② 9,402千円 ③ 10,137千円 ④ 17,637千円 ⑤ 10,112千円 ⑥ 7,092千円	総額	67,492	
			特定財源	国	0
				県	773
				市債	0
				他	91
			一般財源	66,628	
令和 7 年度	①森林整備、林道維持管理等の委託事業 ②林道・作業道の維持修繕 ③かがわ森林整備担い手対策協議会負担金 ④森林整備、県産木材普及、木材需要拡大の補助事業 ⑤事務費等 ⑥森林整備基金積立金	① 15,853千円 ② 0千円 ③ 7,448千円 ④ 36,278千円 ⑤ 9,284千円 ⑥ 363千円	総額	68,863	
			特定財源	国	0
				県	509
				市債	0
				他	0
			一般財源	68,354	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~100%)	B	総合点 (率)	62 / 100 (62%)	今後の方向性	継続
	B (60%~79%)					
	C (0%~59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

森林環境譲与税を活用し、継続的に各種事業を着実に実施する必要がある。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

・森林環境譲与税を活用し、各種事業を着実に実施する。

令和7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産体制の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	林業振興事業			

【事業全体概要】

事業概要	森林資源の造成、水源涵養及び国土保全、造林技術の向上、農山村の雇用と所得の確保などを図るため分収造林事業を実施し、豊かな森林を育てる。 健全な森林づくりや里山づくりの支援を行い、水源涵養、国土の有効利用、自然環境の保全を図る。 また、森林所有者による計画的かつ一体的な森林施業の実施に不可欠な活動に要する経費に対し支援する。				
7年度概要	分収造林整備事業 367,400円×一式 造林助成事業 50ha				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	森林法

【事業の目的】

対象(何を)	分収造林地 民有林
意図(どのような状態にしたいか)	森林資源の造成、水源涵養及び国土保全、農山村の雇用と所得の確保を図るため分収造林事業を実施し、また、森林所有者による計画的森林施業の実施に不可欠な施業に要する経費に対し支援する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
① 造林施業面積	ha	0	0	0	10	10
② 補助金交付件数	件	0	0	0	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8	
①	分収造林地において造林施業を実施した面積の比率	%	目標値 実績値	0 0	0 0	3 1.5	3	3	
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)				<p>(目標達成度) 50.0%</p> <p>(得点) 18点</p>				
	分収造林地における森林施業について、計画どおりの森林管理が行えなかった。								
②	人工造林地において造林施業を実施した面積の比率	%	目標値 実績値	0 0	0 0	3 1.5	3	3	
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)				<p>(目標達成度) 50.0%</p> <p>(得点) 18点</p>				
	木材価格が低迷し、造林意欲が低下している中、作業員不足も影響し、計画どおりの森林管理が行えなかった。								

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	10,456	10,567	5,449	3,458
(事業費)	[千円]	6,714	6,051	3,133	1,142
(職員人件費)	[千円]	3,742	4,516	2,316	2,316

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			総額		
令和 6 年度	分収造林整備事業 4,366,370円×一式 造林助成事業 50ha	分収造林整備事業費等 2,002千円 森林保険料 685千円 分収造林審議会 20千円 契約に係る事務費・旅費 426千円	総額	3,133	
			特定財源	国	0
				県	791
				市債	0
				他	0
			一般財源	2,342	
令和 7 年度	分収造林整備事業 367,400円×一式 造林助成事業 50ha	分収造林整備事業費等 368千円 森林保険料 623千円 分収造林審議会 20千円 契約に係る事務費・旅費 131千円	総額	1,142	
			特定財源	国	0
				県	215
				市債	0
				他	0
			一般財源	927	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~100%) B (60%~79%) C (0%~59%)	C	総合点 (率)	56 / 100 (56%)	今後の方向性	改善
-------	---	---	------------	-------------------	--------	----

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)
 森林資源を守るとともに、森林所有者の造林事業を支援することにより、林業の振興に寄与している。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)
 木材価格が低迷し、山林所有者の造林意欲が低下している中、計画的に森林造成を進め、健全な山づくりを行う。

令和7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産体制の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	水産振興事業			

【事業全体概要】

事業概要	水産業を振興する上で重要な施策である稚魚の種苗放流・増養殖の事業を実施する。			
7年度概要	(1) 栽培漁業推進事業：ヒラメ、クルマエビ、マダコ等の放流 (2) 水産増養殖事業：イカ産卵期設置 (3) 淡水魚種苗放流事業 (4) 漁業近代化資金等利子補給事業			
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令

【事業の目的】

対象（何を）	市内の漁業者
意図（どのような状態にしたいか）	水産資源の増殖を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
① ヒラメ放流尾数	尾	0	0	15,000	12,000	12,000
② 補助金交付件数	件	0	0	2	6	6

【事業の成果】

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
生鮮水産物出荷量	t	目標値 実績値	0 0	0 0	3,000 2,652	3,000	3,000
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
令和5年度から、新型コロナウイルス感染症の規制が撤廃されイベント等の再開により経済も回復傾向だが、物価高騰の影響により魚介類を買い控えるなど魚介類の消費量の回復は遅く生鮮水産物の出荷量は落ち込み、目標を達成できなかった。			(目標達成度)		88.4%		
			(得点)		31点		
成果指標②							
			(目標達成度)				
			(得点)				

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	5,788	6,590	6,304	6,151
(事業費)	[千円]	4,291	5,085	4,760	4,607
(職員人件費)	[千円]	1,497	1,505	1,544	1,544

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			総額		
令和6年度	(1) 栽培漁業推進事業：ヒラメ、クルマエビ、マダコ等の放流 (2) 水産増養殖事業：イカ産卵期設置 (3) 淡水魚種苗放流事業 (4) 漁業近代化資金等利子補給事業	(1) 負担金、補助金 3,259千円 (2) 補助金 360千円 (3) 補助金 980千円 (4) 利子補給 161千円	総額	4,760	
			特定財源	国	0
				県	200
				市債	0
				他	0
一般財源	4,560				
令和7年度	(1) 栽培漁業推進事業：ヒラメ、クルマエビ、マダコ等の放流 (2) 水産増養殖事業：イカ産卵期設置 (3) 淡水魚種苗放流事業 (4) 漁業近代化資金等利子補給事業	(1) 負担金、補助金 3,271千円 (3事業) (2) 補助金 320千円 (3) 補助金 920千円 (4) 利子補給 96千円	総額	4,607	
			特定財源	国	0
				県	200
				市債	0
				他	0
一般財源	4,407				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~100%)	A	総合点 (率)	88 / 100 (88%)	今後の方向性	継続
	B (60%~79%)					
	C (0%~59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

令和3年度から取り組んでいるイカの増殖事業(産卵器具の設置)では、良好な産卵状況が確認されている。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

水産資源の維持・増大を図るために必要な事業であることから、継続する必要がある。

令和7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産体制の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	松くい虫防除事業			

【事業全体概要】

事業概要	健全な森林の育成と、公益的機能の維持向上等を図るため、地域の実態や松くい虫被害状況に応じ防除事業を実施する。			
7年度概要	松くい虫防除事業			
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令

【事業の目的】

対象（何を）	高松市内の山林
意図（どのような状態にしたいか）	松くい虫防除事業等を実施することにより、健全な森林を育成する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
① 松くい虫被害木材伐倒駆除材積	m3	0	0	0	20	20
②						

【事業の成果】

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
年間松くい虫被害材積の伐倒駆除事業実施した面積比率	%	目標値	0	0	20	20	20
		実績値	0	0	20	20	20
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
① 作業予定地内の対象木について全て防除できたことにより、目標を達成することができた。	(目標達成度)		100.0%				
	(得点)		35点				
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
②	(目標達成度)						
	(得点)						

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	0	0	5,402	8,125
(事業費)	[千円]	0	0	3,858	6,581
(職員人件費)	[千円]	0	0	1,544	1,544

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	松くい虫防除事業	3,858千円	総額	3,858	
			特定財源	国	0
				県	1,452
				市債	0
				他	0
一般財源	2,406				
令和 7 年度	松くい虫防除事業	6,581千円	総額	6,581	
			特定財源	国	0
				県	2,869
				市債	0
				他	0
一般財源	3,712				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90%)	今後の方向性	継続
	B (60%~79%)					
	C (0%~59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

松くい虫被害は小康状態となっているが、今度も防除事業を総合的に実施する必要がある。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

地域の実態や松くい虫の被害状況に応じて、また、事前調査をしっかりと行い、適正規模で防除事業を実施する。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産振興と担い手の確保・育成		事業期間	令和 6年度～令和13年度
	事務事業	スマート農業推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	県・JA等の関係機関やICTベンチャー等と連携して、ICTシステム等の先端技術、AI、ロボット技術等のスマート農業の推進を図るとともに、スマート農業技術の導入・活用を促進することにより、生産性を高め、収益力を強化するためのノウハウと技術を集約し、本市における次世代の農業経営を支援するもの。				
7年度概要	高松市スマート農業推進事業				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	6-④	関連根拠法令	高松市スマート農業推進事業費補助金交付要

【事業の目的】

対象（何を）	認定農業者、認定新規就農者、農地所有適格法人、集落営農組織、鳥獣被害対策実施隊員で、いずれも市内で農業を営む者のうち、市内に居住し、又は所在する者
意図（どのような状態にしたいか）	若年就農者にも魅力のある「創造性豊かで持続可能な農業」を実現するため、スマート農業技術の導入・活用を推進することにより、農作業の省力化や農作物の高品質化等を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
① 高松市スマート農業推進事業に取組む件数	件	0	0	2	4	4
②						

【事業の成果】

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
スマート農業導入経営体件数（延べ）	経営体	目標値 実績値	0 0	0 0	29 29	33	37
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
① 新規就農者等の担い手農家に対する事業の周知を図り、計画どおりに事業を実施した結果、目標を達成できた。	(目標達成度)		100.0%				
	(得点)		35点				
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
②	(目標達成度)						
	(得点)						

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	4,236	4,589	4,088	4,088
(事業費)	[千円]	494	825	1,000	1,000
(職員人件費)	[千円]	3,742	3,764	3,088	3,088

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			総額		
令和 6 年度	高松市スマート農業推進事業	補助金 1,000千円	総額	1,000	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	1,000
一般財源	0				
令和 7 年度	高松市スマート農業推進事業	補助金 1,000千円 ※補助率 1/2 以内 ※補助金上限 500千円	総額	1,000	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	1,000				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94%)	今後の方向性	拡充
	B (60%~79%)					
	C (0%~59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

農業の生産性向上や農作物の高品質化のため、スマート農業技術を導入することは、本市の農業振興を図る上で重要な取組の一つであるため、導入コストの低減を図りつつ、引き続き、スマート農業の普及を推進する。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

重点取組事業として継続する。

令和7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産振興と担い手の確保・育成		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	環境にやさしい農業の推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	中山間地域などの農業生産条件が不利な指定地域の農用地区域を対象として、耕作放棄地の発生防止と農業の多面的機能の確保を図るため、集落協定を締結し5年以上農業を継続する農業者に対して交付金を交付する。化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減した上で、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取組む有機農業者等に対して交付金を交付する。				
7年度概要	<ul style="list-style-type: none"> ○集落説明会の開催 ○市推進協議会の開催 ○集落事業計画の策定・認定 ○現地確認 ○活動記録・収支の検査 				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する	

【事業の目的】

対象（何を）	中山間地域等直接支払制度の対象となっている法指定地域及び知事特認地域における一定以上の傾斜を有する農用地区域内の農地
意図（どのような状態にしたいか）	農業の持続的発展等を確保する観点から、有機農業等の環境と調和のとれた環境に優しい農業を推進するとともに、中山間地域における農業生産活動の維持又は農用地の保全管理を通じて、農業の有する多面的機能を確保する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
① 中山間地域等直接支払交付金交付農家数	件	0	0	705	760	780
② 環境に優しい農業に取り組む農業者数	経営体	0	0	10	12	13

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
	中山間地域等直接支払制度取組面積	ha	目標値	0	0	287	290	295
			実績値	0	0	229.5		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
取組農家数の増加に伴い、取組地域において活発な営農活動が行われたことから、取組面積は増加したものの目標には及ばなかった。				(目標達成度)	80.0%			
				(得点)	28点			
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
	環境にやさしい農業の取組面積	ha	目標値	0	0	7.5	8	8.5
			実績値	0	0	7.8		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
積極的に環境にやさしい農業に取り組む農家数が増加したことで、作付面積も広がり目標を達成できた。				(目標達成度)	104.0%			
				(得点)	35点			

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	48,044	50,452	53,408	63,076
(事業費)	[千円]	41,308	43,678	44,144	53,812
(職員人件費)	[千円]	6,736	6,774	9,264	9,264

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			特定財源	一般財源	
令和6年度	○集落説明会の開催 ○市推進協議会の開催 ○集落事業計画の策定・認定 ○現地確認 ○活動記録・収支の検査	中山間地域等直接支払制度 交付金 41,341千円 推進事業費 284千円 負担金 1,558千円 環境保全型農業直接支払制度 交付金 961千円	総額	44,144	
			特定財源	国	0
				県	31,455
				市債	0
				他	0
一般財源	12,689				
令和7年度	○集落説明会の開催 ○市推進協議会の開催 ○集落事業計画の策定・認定 ○現地確認 ○活動記録・収支の検査	中山間地域等直接支払制度 交付金 48,946千円 推進事業費 292千円 委託料 2,744千円 負担金 40千円 環境保全型農業直接支払制度 交付金 1,790千円	総額	53,812	
			特定財源	国	0
				県	40,135
				市債	0
				他	0
一般財源	13,677				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~100%)	A	総合点 (率)	89 / 100 (89%)	今後の方向性	継続
	B (60%~79%)					
	C (0%~59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

中山間地域の耕作条件の不利な環境において、農業者の高齢化など担い手不足は深刻な状況にあるが、交付金を活用し、地域集落において農地の維持管理に取り組んでいる。
 有機農業者等が、交付金を活用し、化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減した上で、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組んでいる。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

農業の持続的発展と農業の有する多面的機能の確保のため、引き続き中山間地域等直接支払制度及び環境保全型直接支払制度に取り組む。

令和7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産振興と担い手の確保・育成		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	農業経営安定対策事業			

【事業全体概要】

事業概要	小麦等の推進作物への誘導により、水田を有効活用し、農業経営における収益向上を推進するため、事業を実施する高松市地域農業再生協議会に補助金を交付し、経営所得安定対策の円滑な推進を図る。				
7年度概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業者への営農計画書及びパンフレット等の配布 ・ 営農計画書のシステム入力による水田台帳の管理 ・ 交付対象作物の現地確認及び販売実績の確認 ・ 水田機能回復のための畔塗作業等の取組に対する支援 ・ 収入保険制度にかかる新規就農者の保険料に対する支援 				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	経営所得安定対策等実施要綱、経営所得安定	

【事業の目的】

対象（何を）	市内の農業者
意図（どのような状態にしたいか）	国の経営所得安定対策制度の活用による市内農業者の経営安定を図るとともに、主食用米の需要に応じた生産と、麦類や露地野菜等の産地作物の作付を推進し、食料自給率の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
① 経営所得安定対策等交付金交付申請者数	人	0	0	533	550	550
②						

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
交付対象作物の作付面積	ha	目標値	0	0	900	900	900
		実績値	0	0	1,190		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
交付対象作物の作付面積については、担い手による麦類の作付や、飼料作物の作付による耕畜連携の取組が増加したことにより、目標面積を達成することができた。			(目標達成度)	132.2%			
			(得点)	35点			
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
麦作付け面積	ha	目標値	0	0	750	760	770
		実績値	0	0	766		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
麦類の生産については、収穫期の降雨による収量・品質の低下が見られたものの、作付面積については目標を達成した。			(目標達成度)	102.1%			
			(得点)	35点			

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	53,251	49,808	56,592	48,767
(事業費)	[千円]	27,805	24,969	30,344	22,519
(職員人件費)	[千円]	25,446	24,839	26,248	26,248

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			総額		
令和 6 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業者への営農計画書及びパンフレット等の配布 ・ 営農計画書のシステム入力による水田台帳の管理 ・ 交付対象作物の現地確認及び販売実績の確認 ・ 営農用機械・器具の整備に対する支援 	経営所得安定対策推進事業費補助金 18,504千円 かがわの水田農業競争力強化対策事業費補助金 11,840千円	総額	30,344	
			特定財源	国	0
				県	27,384
				市債	0
				他	0
一般財源	2,960				
令和 7 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業者への営農計画書及びパンフレット等の配布 ・ 営農計画書のシステム入力による水田台帳の管理 ・ 交付対象作物の現地確認及び販売実績の確認 ・ 水田機能回復のための畔塗作業等の取組に対する支援 ・ 収入保険制度にかかる新規就農者の保険料に対する支援 	経営所得安定対策推進事業費補助金 21,875千円 水田機能維持・活用促進事業 300千円 農業経営収入安定化支援事業 344千円	総額	22,519	
			特定財源	国	0
				県	22,175
				市債	0
				他	0
一般財源	344				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~100%) B (60%~79%) C (0%~59%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92%)	今後の方向性	継続
-------	---	---	------------	-------------------	--------	----

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

経営所得安定対策については、国の事業を活用し、適切な実施が図られた。なお、この事業は、国の補助金で賄われているが、事務局運営費である推進事務費等が年々減額されており、事業の推進に支障を来しつつある。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

当該事業は、輸入に頼っている戦略作物の作付推進による食料自給率の向上と、米作離れ等による離農者増加に伴う遊休農地の増加を防ぐためのものであり、担い手による農地の借受促進にも資するものである。今後も、国の戦略作物の振興、本市の特産物となり得る野菜等の作付拡大を図り、農業者の営農意欲を促進していく。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産振興と担い手の確保・育成		事業期間	令和 6年度～令和13年度
	事務事業	農業次世代人材投資事業			

【事業全体概要】

事業概要	次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、経営開始時の早期の経営確立を支援する資金を交付するとともに、優れた農業技術や経営能力を持った若い農業者を育成するため、栽培品目や地域ごとに組織された農業後継者クラブの活動を支援する。				
7年度概要	①農業次世代人材投資資金 ②経営開始資金 ③農業後継者クラブ育成事業				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	新規就農者育成総合対策実施要綱等	

【事業の目的】

対象（何を）	市内の新規就農者等
意図（どのような状態にしたいか）	新規就農直後の経営確立を支援する国の資金を交付するとともに、農業後継者クラブ活動を通じて、優れた農業技術や経営能力を持つ次世代の農業者を育成する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
① 経営開始資金等交付農家数	人	0	0	32	20	20
②						

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		認定新規就農者数（延べ）	経営体	目標値 実績値	0 0	0 0	98 101	105
成果指標①	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	関係機関と連携して、就農相談会の開催や青年等就農計画の作成支援を行うことにより、認定新規就農者を確保した。			(目標達成度)	103.1%			
			(得点)	35点				
成果指標②	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)				
			(得点)					

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	0	53,551	53,639	62,940
(事業費)	[千円]	0	46,777	46,691	55,992
(職員人件費)	[千円]	0	6,774	6,948	6,948

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			特定財源	一般財源	
令和 6 年度	①農業次世代人材投資資金 ②経営開始資金 ③農業後継者クラブ育成事業	① 24,502千円 ② 21,750千円 ③ 439千円	総額	46,691	
			特定財源	国	0
				県	46,251
				市債	0
				他	0
一般財源	440				
令和 7 年度	①農業次世代人材投資資金 ②経営開始資金 ③農業後継者クラブ育成事業	① 16,500千円 ② 39,000千円 ③ 492千円	総額	55,992	
			特定財源	国	0
				県	55,500
				市債	0
				他	0
一般財源	492				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92%)	今後の方向性	継続
	B (60%~79%)					
	C (0%~59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

積極的に就農相談活動を行うとともに、国の経営開始資金等を活用することにより、新規就農者の確保・育成に努め、認定新規就農者を確保した。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

国の事業を活用して、引き続き新規就農者の確保・育成を図る。

令和7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産振興と担い手の確保・育成		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	担い手への支援・農地集積推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	地域農業の維持・発展のため、令和7年3月24日に高松市地域計画を策定した。これらは、地域の農業者の話し合いに基づき、地域農業の維持・発展を図るため、担い手への農地集積を促すものである。随時、当該計画を変更し、地域内農用地が継続的に維持・管理されるよう農業委員会、農地機構等の関係団体と連携し、優良農地の確保、担い手への農地集積・集約を進めていく。				
7年度概要	①人・農地将来ビジョン確立・実現支援事業費 ②優良農地確保対策事業費 ③担い手への農地集積促進事業費 ④多様な農業経営体育成推進事業費 ⑤農業経営基盤強化促進事業費 ⑥農業近代化資金利子補給費				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	農業経営基盤強化促進法	農地中間管理事業

【事業の目的】

対象（何を）	・認定農業者、認定新規就農者、集落営農などの担い手 ・農用地
意図（どのような状態にしたいか）	担い手への農地集積を推進し、担い手の育成を図るとともに、地域農業の維持・発展及び農地の保全等を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
① 地域計画への参画者数	人	0	0	314	310	310
②						

【事業の成果】

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
担い手農業者数	人	目標値	0	0	425	435	445
		実績値	0	0	431		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
認定農業者経営拡大事業及び農地中間管理事業等の活用により概ね目標を達成できた。	(目標達成度)		101.4%				
	(得点)		35点				
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
農地中間管理事業等の活用により、農地集積率は目標をほぼ達成できた。	(目標達成度)		98.8%				
	(得点)		35点				

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	52, 115	183, 053	104, 257	65, 581
(事業費)	[千円]	31, 160	154, 450	85, 729	47, 053
(職員人件費)	[千円]	20, 955	28, 603	18, 528	18, 528

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	①人・農地将来ビジョン確立・実現支援事業費 ②優良農地確保対策事業費 ③担い手への農地集積促進事業費 ④農業経営基盤強化促進事業費 ⑤農業近代化資金利子補給費 ⑥持続可能な地域農業の実現支援事業費(農業経営収入安定化支援事業、農林水産業継続緊急支援事業) ⑦集落営農推進支援事業費	①4, 904千円②4, 510千円③7, 501千円④3, 668千円⑤42千円⑥62, 430千円⑦2, 674千円	総額	85, 729	
			特定財源	国	0
				県	9, 887
				市債	0
				他	0
一般財源	75, 842				
令和 7 年度	①人・農地将来ビジョン確立・実現支援事業費 ②優良農地確保対策事業費 ③担い手への農地集積促進事業費 ④多様な農業経営体育成推進事業費 ⑤農業経営基盤強化促進事業費 ⑥農業近代化資金利子補給費	①2, 144千円②1, 800千円③1, 500千円④37, 852千円⑤3, 707千円⑥50千円	総額	47, 053	
			特定財源	国	0
				県	36, 693
				市債	0
				他	0
一般財源	10, 360				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~100%) B (60%~ 79%) C (0%~ 59%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
-------	--	---	------------	--------------------	--------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

担い手への農地集積・集約化により生産体制の整備が図られた。
「地域計画」の策定に関し、香川県農地機構、農業委員会等関係機関と連携し、地域農業の現状等を適切に把握しながら取り組むものである。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

香川県農地機構との連携強化により、引き続き、農地の利用集積・集約を進めるとともに、担い手の育成を図る。
また、令和7年3月24日に策定した地域計画を随時変更していく。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産振興と担い手の確保・育成		事業期間	令和 6年度～令和13年度
	事務事業	農業団体育成事業			

【事業全体概要】

事業概要	市内の農業関係機関や農業者団体と連携して、本市農業の総合的振興及び発展を図るため、各種農業団体に対する支援等を行うとともに、農業保険法に基づく農業共済事業等を推進するため、市内を管轄する農業共済組合に対し、補助金を交付する。			
7年度概要	①農業団体育成費 ②園芸団体育成費			
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令

【事業の目的】

対象（何を）	市内の農業生産者
意図（どのような状態にしたいか）	農業関係機関と連携して、地域農業の総合的振興及び発展を図り、時代に即応した農業生産基盤の確立を目指す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
① 補助金交付件数	件	0	0	6	7	7
②						

【事業の成果】

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
市内の農畜産物販売額（JA取扱分）	億円		0	0	40	40	40
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
① 農業生産資材の高騰や夏期の高温等による厳しい農業情勢の下、関係機関が連携して農業生産振興に努めた結果、農産物価格が相対的に上昇したこともあり、販売額については目標を達成した。	(目標達成度)		111.5%				
	(得点)		35点				
成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値				
			実績値				
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
②	(目標達成度)						
	(得点)						

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	10,628	9,772	9,587	10,146
(事業費)	[千円]	6,138	6,008	5,727	6,286
(職員人件費)	[千円]	4,490	3,764	3,860	3,860

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			総額		
令和 6 年度	①農業団体育成費 ②園芸団体育成費	① 5,594千円 ② 133千円	総額	5,727	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	5,727				
令和 7 年度	①農業団体育成費 ②園芸団体育成費	① 6,105千円 ② 181千円	総額	6,286	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	6,286				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90%)	今後の方向性	継続
	B (60%~79%)					
	C (0%~59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)
 各種農業団体に対する支援等を行い、本市農業の総合的振興及び発展が図られた。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)
 事業に支障がない範囲で、必要に応じて補助金の見直しを検討する。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産振興と担い手の確保・育成		事業期間	令和 6年度～令和13年度
	事務事業	農福連携推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	農業・福祉の連携に関する啓発活動や両者のマッチングを促進することにより、農業分野における障がい者の就労や生きがいつくりの場を創出するとともに、多様な農業人材の確保・活用を図るもの。			
7年度概要	①高松市農福連携推進協議会 ②農福連携スタートアップ事業			
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	市内の農業生産者及び福祉事業者
意図（どのような状態にしたいか）	農業分野と福祉分野の連携を推進し、障がい者等の農業参入を目指す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
① 交流会等の開催数	件	0	0	4	3	3
②						

【事業の成果】

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
新たに農福連携に取り組む経営体（延べ）	経営体	目標値 実績値	0 0	0 0	1 1	2	3
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
農福連携農作業体験会等の実施を通じて、新たに農福連携に取り組む経営体の目標を達成することができた。		(目標達成度) 35点					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	0	0	5,813	6,604
(事業費)	[千円]	0	0	409	1,200
(職員人件費)	[千円]	0	0	5,404	5,404

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・農福連携推進協議会の設立 ・視察研修の実施（安芸市・西条市） ・生産現場見学会、農作業体験会の実施 	409千円	総額	409	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	409				
令和 7 年度	<ul style="list-style-type: none"> ①高松市農福連携推進協議会 ②農福連携スタートアップ事業 	<ul style="list-style-type: none"> ① 200千円 ② 1,000千円 	総額	1,200	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	1,200				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	3	一部結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92%)	今後の方向性	拡充
	B (60%~79%)					
	C (0%~59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

新たに高松市農福連携推進協議会を設立したほか、農作業体験会、生産現場見学会や視察研修を実施し、農業者と福祉事業所の相互理解を促進した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

市内農業者や福祉事業所で構成する高松市農福連携推進協議会において、試行的な農作業請負を推進するとともに、令和7年度からは、新たに農福連携スタートアップ事業補助金を創設し、農福連携のマッチングを促進する。

令和7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産振興と担い手の確保・育成		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	畜産団体育成事業			

【事業全体概要】

事業概要	畜産団体育成事業は、畜産の振興上必要な諸事項の協議、調査等を行う市畜産振興協議会及び畜産団体の活動経費に対して補助を行う。また、畜産共進会や枝肉共励会を開催し、飼養技術向上を図るなど高松市の畜産振興を図るための事業である。			
7年度概要	(1) 負担金 香川県畜産協会負担金、高松市畜産共進会負担金 (2) 補助金 高松市畜産振興協議会事業、高松市肉牛枝肉共励会事業			
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令

【事業の目的】

対象（何を）	高松市内の畜産農家
意図（どのような状態にしたいか）	高松市内の牛豚飼養農家が県と市の共進会に参加し、飼養技術の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
① 畜産団体の補助金交付件数	件	0	0	2	2	2
②						

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
① 1戸当たりの乳用牛飼養頭数	頭	目標値	0	0	126	128	129
		実績値	0	0	151		
		成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	市内の乳用牛の増産が図られたことから、目標値を達成できた (目標達成度) 119.8% (得点) 35点				
② 1戸当たりの肉用牛飼養頭数	頭	目標値	0	0	162	164	166
		実績値	0	0	207		
		成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	市内の肉用牛の増産が図られたことから、目標値を達成できた (目標達成度) 127.8% (得点) 35点				

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	3,831	1,590	1,552	1,510
(事業費)	[千円]	837	837	780	738
(職員人件費)	[千円]	2,994	753	772	772

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	(1) 負担金 香川県畜産協会負担金、高松市畜産共進会負担金 (2) 補助金 高松市畜産振興協議会事業、高松市肉牛枝肉共励会事業	(1) 470千円 (2) 310千円	総額	780	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	780				
令和 7 年度	(1) 負担金 香川県畜産協会負担金、高松市畜産共進会負担金 (2) 補助金 高松市畜産振興協議会事業、高松市肉牛枝肉共励会事業	(1) 428千円 (2) 310千円	総額	738	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	738				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94%)	今後の方向性	継続
	B (60%~79%)					
	C (0%~59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

国際情勢の変化に伴う飼料価格高騰の影響を受けた畜産農家を支援するため、親子料理教室を開催し、畜産製品の消費拡大キャンペーンを展開した。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

畜産団体や共励会・共進会が開催する事業等へ助成をすることで、各団体の育成のほか飼養技術の向上を図る等、畜産振興の発展に寄与していく。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	生産振興と担い手の確保・育成		事業期間	令和 6年度～令和13年度
	事務事業	水産団体育成事業			

【事業全体概要】

事業概要	(1) 水産業振興の円滑な推進のため、関係漁業団体に対し助成する。 (2) 後継者の育成や水産物の消費拡大を図るために漁業体験等を実施する水産団体に助成する。			
7年度概要	関係水産団体への助成 (1) 負担金 香川県水産振興協会 (2) 補助金 高松市漁業組合連絡協議会 (3) 子どもを対象とした水産教室の開催 漁業団体 (4) 事務費			
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令

【事業の目的】

対象（何を）	市内の漁業者
意図（どのような状態にしたいか）	漁業者組織を中心に各種水産振興施策を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
① 助成団体数	団体	0	0	2	2	2
②						

【事業の成果】

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
生鮮水産物出荷量	t	目標値 実績値	0 0	0 0	3,000 2,652	3,000	3,000
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
①	新型コロナウイルス感染症の規制が撤廃されイベント等の再開により経済も回復傾向にあったが、魚介類の消費量の回復は遅く生鮮水産物の出荷量は落ち込み、目標を達成できなかった。		(目標達成度)		88.4%		
			(得点)		31点		
成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		目標値 実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
②			(目標達成度)				
			(得点)				

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	2,616	4,353	2,885	3,090
(事業費)	[千円]	1,868	1,342	1,341	1,546
(職員人件費)	[千円]	748	3,011	1,544	1,544

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			特定財源	一般財源	
令和6年度	関係水産団体への助成 (1) 負担金 香川県水産振興協会 (2) 補助金 高松市漁業組合連絡協議会 (3) 子どもを対象とした水産教室の開催 (4) 事務費	(1) 700千円 (2) 480千円 (3) 160千円 (4) 1千円	総額	1,341	
			特定財源	国	0
				県	100
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,241	
令和7年度	関係水産団体への助成 (1) 負担金 香川県水産振興協会 (2) 補助金 高松市漁業組合連絡協議会 (3) 子どもを対象とした水産教室の開催 漁業団体 (4) 事務費	(1) 900千円 (2) 480千円 (3) 160千円 (4) 6千円	総額	1,546	
			特定財源	国	0
				県	100
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,446	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~100%)	A	総合点 (率)	86 / 100 (86%)	今後の方向性	継続
	B (60%~79%)					
	C (0%~59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

水産業の活性化に関する事業を実施した。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

本市の水産振興施策の効果的な実施のため、事業継続は必要である。
なお、一部の事業については、事務事業の見直しにより、令和3年度から廃止となった。

令和7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	人と活力であふれる産業の振興		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	取組方針	地産地消の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	高松ブランド農産物育成支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	消費者の視点に立ち、地産地消を基本とした一般市民との共生型農業を推進するため、市内で生産された新鮮で良質な農産物や加工品を市民に提供し、食の安全に対する信頼回復を図るとともに、地域ブランドとして「高松産ごじまん品」を推進し、市内農産物の需要拡大と市民の健康で豊かな食生活の実現を図るために必要な事業を実施する。また、六次産業化・農商工連携による農産物のブランド化を図る。			
7年度概要	①高松ブランド農産物育成支援 ②学校給食における高松産ごじまん品等利用拡大			
重点取組事業		市長マニフェスト	6-③	関連根拠法令

【事業の目的】

対象（何を）	高松産ごじまん品（市内農畜産物）
意図（どのような状態にしたいか）	地産地消活動や「高松産ごじまん品」のブランド化を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
① 高松産ごじまん品ホームページ更新回数	回	0	0	12	10	10
②						

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
高松産ごじまん品ホームページ閲覧数	件	目標値 実績値	0 0	0 0	35,900 36,119	36,600	37,300
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
農業体験教室、たかまつ食と農のフェスタ等のイベントを積極的にPRしたことにより、目標値を上回った。	(目標達成度) 100.6%						
(得点) 35点							
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
地元の食材を意識して購入している割合	%	目標値 実績値	0 0	0 0	34 27.3	36	38
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
食材の価格高騰により、産地よりも価格を基準に選ぶ割合が高くなったことから、目標値を下回った。	(目標達成度) 80.3%						
(得点) 28点							

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	42,931	10,796	23,308	19,886
(事業費)	[千円]	32,453	2,516	12,500	9,078
(職員人件費)	[千円]	10,478	8,280	10,808	10,808

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			総額		
令和 6 年度	①高松ブランド農産物育成支援 ②学校給食における高松産ごじまん品等利用拡大	① 2,500千円 ② 10,000千円	総額	12,500	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	12,500				
令和 7 年度	①高松ブランド農産物育成支援 ②学校給食における高松産ごじまん品等利用拡大	① 2,500千円 ② 6,578千円	総額	9,078	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	9,078				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~100%)	A	総合点 (率)	85 / 100 (85%)	今後の方向性	継続
	B (60%~79%)					
	C (0%~59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

たかまつ食と農のフェスタや農業体験教室を実施し、食育・地産地消を推進した。
また、学校給食において地場産農畜水産物のPR及び消費拡大に取り組んだ。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

引き続き、食育・地産地消を推進し、農産物のブランド化に取り組む。

令和7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域活力の創造		課(室)名	農林水産課
	施策	高松ブランドの向上		電話番号	087-839-2422
	取組方針	関係人口の創出・拡大		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	グリーン・ツーリズム推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	農村地域において、自然や文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動であるグリーン・ツーリズムを推進するため、高松市グリーン・ツーリズム推進協議会等の活動に対する支援や、市民農園の利用促進を図ることにより、農業や農村に対する理解を促進し、農村と都市との交流促進を通じた地域の活性化を目指す。			
7年度概要	グリーン・ツーリズム推進事業			
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	香川県グリーンツーリズム推進事業費補助金

【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	グリーン・ツーリズム活動を推進することにより、都市住民と農村住民の交流の活発化を図り、農村地域の活性化を目指す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
① 補助金交付件数	件	0	0	1	1	1
②						

【事業の成果】

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
グリーン・ツーリズム年間入込客数	人	目標値 実績値	0 0	0 0	164,000 201,716	166,000	168,000
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
新型コロナウイルス感染症の影響が低下し、インバウンド客が増加したことから目標を達成することができた。		(目標達成度)	123.0%				
		(得点)	35点				
成果指標①							
成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
		目標値 実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)					
		(得点)					
成果指標②							

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	748	1,607	1,771	1,772
(事業費)	[千円]	0	854	999	1,000
(職員人件費)	[千円]	748	753	772	772

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	グリーン・ツーリズム推進事業	補助金 999千円	総額	999	
			特定財源	国	0
				県	499
				市債	0
				他	0
一般財源	500				
令和 7 年度	グリーン・ツーリズム推進事業	補助金 1,000千円	総額	1,000	
			特定財源	国	0
				県	500
				市債	0
				他	0
一般財源	500				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92%)	今後の方向性	継続
	B (60%~79%)					
	C (0%~59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

高松空港エリア観光農業推進協議会が実施する誘客の取組を支援した。グリーン・ツーリズム実践団体の来場者は回復傾向にある。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

グリーン・ツーリズム実践団体に対する支援を実施し、グリーン・ツーリズム実践団体の増加及び農村の活性化を図る。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域活力の創造		課(室)名	農林水産課
	施策	高松ブランドの向上		電話番号	087-839-2422
	取組方針	特産品の育成・振興		事業期間	令和 6年度～令和13年度
	事務事業	高松盆栽産地ブランド確立事業			

【事業全体概要】

事業概要	「高松市伝統的ものづくり振興条例」の基本理念及び「『高松盆栽の郷』基本構想」に基づき、高松盆栽の総合的な振興を図るため、盆栽事業者と連携し、高松盆栽PR、盆栽の生産振興、輸出拡大による販路の拡大等を推進し、人づくりの推進及び高松盆栽の育成・振興並びにブランド化を図る。				
7年度概要	①盆栽産地振興事業 ②高松盆栽PR事業 ③高松盆栽次世代人材育成事業 ④盆栽産地の受入体制整備事業 ⑤大阪・関西万博等出展支援事業				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	6-②	関連根拠法令	高松盆栽産地ブランド確立事業補助金交付要

【事業の目的】

対象（何を）	盆栽の振興
意図（どのような状態にしたいか）	高松盆栽の生産振興及び地域の活性化を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
① イベント等における高松盆栽のPR開催回数	回	0	0	6	5	5
②						

【事業の成果】

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
「高松盆栽の郷」売上金額	万円	目標値	0	0	5,600	6,400	7,200
			0	0	4,326		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
施設の認知度が向上し、秋の「高松盆栽の郷フェスタ」が開催される10月には売り上げは増加しているものの、物価高騰の影響などにより、前年のような夏場の大口売り上げがなく、目標を達成できなかった。	(目標達成度)		77.3%				
	(得点)		27点				
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	(目標達成度)						
	(得点)						

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	14,218	11,402	23,063	21,827
(事業費)	[千円]	7,482	5,380	18,431	17,195
(職員人件費)	[千円]	6,736	6,022	4,632	4,632

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			特定財源	一般財源	
令和6年度	①盆栽産地振興事業 ②高松盆栽PR事業 ③高松盆栽次世代人材育成事業 ④盆栽産地の受入体制整備事業 ⑤旅費	① 994千円 ② 2,500千円 ③ 950千円 ④ 13,948千円 ⑤ 39千円	総額	18,431	
			特定財源	国	8,974
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	9,457	
令和7年度	①盆栽産地振興事業 ②高松盆栽PR事業 ③高松盆栽次世代人材育成事業 ④盆栽産地の受入体制整備事業 ⑤大阪・関西万博等出展支援事業 ⑥高松盆栽魅力発信事業	① 944千円 ② 8,705千円 ③ 1,800千円 ④ 2,915千円 ⑤ 213千円 ⑥ 2,618千円	総額	17,195	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	17,195	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~100%)	B	総合点 (率)	78 / 100 (78%)	今後の方向性	継続
	B (60%~79%)					
	C (0%~59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

高松盆栽学校や高松盆栽の郷フェスタ、高松盆栽WEEKの他、国の地域観光新発見事業を活用した盆栽産地の受入体制整備等に取り組み、PRに努めてきたが、拠点施設における販売金額は減少した。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

県、JA及び盆栽生産者と連携して、引き続き「高松盆栽の郷」基本構想に基づく取組を行う。